

(様式第 10)

岩医大病医第 355 号
平成 26 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

学校法人 岩手医科大学
理事長 小川 彰 (印)

岩手医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 25 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19番1号
氏 名	学校法人 岩手医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

岩手医科大学附属病院

3 所在の場所

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19番1号	電話(019) 651 - 5111
----------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	① . 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 消化器内科 2 肝臓内科 3 糖尿病・代謝内科 4 循環器内科 5 内分泌内科 6 腎臓内科 7 呼吸器内科 8 心療内科 9 アレルギー科 10 血液・腫瘍内科 11 神経内科 12 老年内科 13 リウマチ科 14 緩和ケア内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) . 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 肝臓外科 3 乳腺外科 4 小児外科 5 気管食道外科 6 呼吸器外科 7 心臓血管外科 8 形成外科 9 美容外科 10 頭頸部外科 11 13 14	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科
⑦産婦人科	8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	12放射線科
⑬放射線診断科	⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科		

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) . 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 矯正歯科 2 小児歯科 3 歯科口腔外科 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科	2 循環器小児科	3 循環器放射線科	4 臨床検査科	5 病理診断科
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21				

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
78 床	床	床	床	1,088 床	1,166 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年 9月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	386人	79人	416人	看護補助者	77人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	116人	0人	116人	理学療法士	10人	臨床検査技師	70人
薬剤師	63人	0人	63人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	42人	0人	42人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看護師	1202人	2人	1202.7人	臨床工学技師	24人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	3人	0人	3人	栄 養 士	7人	その他の技術員	45人
歯科衛生士	36人	0人	36人	歯 科 技 工 士	9人	事務職員	141人
管理栄養士	19人	0人	19人	診療放射線技師	59人	その他の職員	63人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年 9月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	22人	眼科専門医	12人
外科専門医	38人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	9人	放射線科専門医	11人
小児科専門医	19人	脳神経外科専門医	13人
皮膚科専門医	14人	整形外科専門医	17人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	13人
産婦人科専門医	23人	救急科専門医	16人
		合 計	227人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	885.8人	25.9人	911.7人
1日当たり平均外来患者数	1574.6人	428.0人	2002.7人
1日当たり平均調剤数	1428 剤		
必要医師数	190人		
必要歯科医師数	25人		
必要薬剤師数	30人		
必要(准)看護師数	523人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室 (東4階)	255.09m ²	鉄筋コンクリート	病床数	14床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
集中治療室 (循環器)	347.66m ²	鉄筋コンクリート	病床数	21床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 143.1m ² [移動式の場合] 台数 2台			病床数	11床	
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床積 62.33m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	229.64m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置			
細菌検査室	111.05m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 細菌同定・薬剤感受性測定装置、血液培養装置 他			
病理検査室	158.71m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	126.96m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、ホルマリン調合器、オートクレーブ 他			
研究室	3,203.01m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 研究用機器 他			
講義室	1,869.03m ²	鉄筋コンクリート 鉄骨鉄筋	室数 10 室	収容定員	998 人	
図書室	3,825.00m ²	鉄筋コンクリート	室数 37 室	蔵書数	190,092 冊程度	

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	67.6%	逆紹介率	63.8%
算出根拠 A: 紹介患者の数			17,822人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			19,646人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			3,016人
D: 初診の患者の数			30,790人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	12人
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍又はパセドウ病に係るものに限る。)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 無し			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	75人	・膿疱性乾癬	16人
・多発性硬化症	118人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	95人	・原発性胆汁性肝硬変	57人
・全身性エリテマトーデス	226人	・重症急性膵炎	11人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	34人
・再生不良性貧血	47人	・混合性結合組織病	39人
・サルコイドーシス	153人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	39人	・特発性間質性肺炎	12人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	132人	・網膜色素変性症	48人
・特発性血小板減少性紫斑病	65人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	19人	・肺動脈性肺高血圧症	7人
・潰瘍性大腸炎	186人	・神経線維腫症	36人
・大動脈炎症候群	33人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	6人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	25人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3人
・脊髄小脳変性症	53人	・ライゾーム病	3人
・クローン病	121人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	6人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	273人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10人
・後縦靭帯骨化症	50人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	61人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	4人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	68人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	21人	・黄色靭帯骨化症	7人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、 先端巨大症、下垂体機能低下症)	37人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・新生児特定集中治療室退院調整加算
・歯科外来診療環境体制加算	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・歯科診療特別対応連携加算	・救急搬送患者地域連携受入加算
・特定機能病院入院基本料 一般病棟7対1入院基本料	・地域歯科診療支援病院入院加算
・特定機能病院入院基本料 精神病棟10対1入院基本料	・呼吸ケアチーム加算
・臨床研修病院入院診療加算	・データ提出加算
・臨床研修病院入院診療加算(歯科)	・救命救急入院料1
・救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	・特定集中治療室管理料4
・超急性期脳卒中加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)
・急性期看護補助体制加算 75対1	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児)
・妊産婦緊急搬送入院加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・診療緑管理体制加算2	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算(循環器のみ)	・小児入院医療管理料4
・重傷者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算1	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・植込型心電図検査
・植込型除細動器移行期加算	・時間内歩行試験
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料1・2・3	・人工膀胱
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・神経学的検査
・外来放射線照射診療料	・補聴器適合検査
・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	・コンタクトレンズ検査料1
・がん治療連携計画策定料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携管理料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)(併用)
・認知症専門診断管理料	・CT透視下気管支鏡検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・画像診断管理加算2
・薬剤管理指導料	・画像診断管理加算(歯科)
・医薬品安全性情報等管理体制加算	・遠隔画像診断
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・外傷全身CT加算
・歯科治療総合医療管理料	・心臓MRI撮影加算
・在宅血液透析指導管理料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・持続血糖測定器加算	・外来化学療法加算1
・造血器腫瘍遺伝子検査	・無菌製剤処理料
・HPV核酸検出、HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・検体検査管理加算(IV)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・運動器リハビリテーション料(I)

・認知療法・認知行動療法	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・がん患者リハビリテーション料
・医療保護入院等診療料	・両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器交換術
・透析液水質確保加算2	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・磁気による膀胱等刺激法	・経皮的動脈遮断術
・一酸化窒素吸入療法	・ダメージコントロール手術
・歯科技工加算	・体外衝撃波胆石破砕術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養骨移植術に限る)	・体外衝撃波膵石破砕術
・羊膜移植術	・腹腔鏡下肝切除術
・緑内障手術(インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・生体部分肝移植術
・網膜再建術	・同種死体肝移植術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・上顎骨形成術、下顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。)(歯科)	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの)	・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・腹腔鏡下腎部分切除術
・人工内耳植込術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・上顎骨形成術、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・同種死体腎移植術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	・生体腎移植術
・経皮的冠動脈形成術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・輸血管管理料Ⅱ
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・自己生体組織接着剤作成術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・歯周組織再生誘導手術
・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)	・内視鏡手術用支援機器加算
・人工乳房及び組織拡張器(乳房用)	・麻酔管理料(Ⅰ)

・放射線治療専任加算	・麻酔管理料(Ⅱ)
・外来放射線治療加算	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・高エネルギー放射線治療	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・直線加速器による定位放射線治療	・保険医療機関間の連携による病理診断
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・病理診断管理加算2
・歯科矯正診断料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・顎口腔機能診断料	・バルーン拡張型人工生体弁セット

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査	・
・抗悪性腫瘍剤感受性試験(HDRA法又はCD-DST法)	・
・超音波骨折治療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月10回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 14例 / 剖検 3.51%

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳内留置型微細内視鏡の開発と前臨床試験研究	小笠原邦昭	脳神経外科	2,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金
脳卒中急性期医療の地域格差の可視化と縮小に関する研究	小笠原邦昭	脳神経外科	400,000	補 厚生労働科学研究費補助金
異種生体情報を統合表示する術中言語機能モニタリングシステム (IEMAS)の実用化	小笠原邦昭	脳神経外科	236,000	補 経済産業省
岩手県二戸保健医療圏地域における特に女性に着目した多目的コホート	小笠原邦昭	脳神経外科	1,750,000	補 公益信託日本動脈硬化予防研究基金
脳分子イメージングを用いた心血管手術後認知機能障害のメカニズムの解明	小笠原邦昭	脳神経外科	1,000,000	補 公益財団法人先進医薬研究振興財団
遠隔医療を実施する拠点病院のあり方に関する研究	小川 彰	学長	9,360,000	補 厚生労働科学研究費補助金
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	千田勝一	小児科学講座	7,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(呉班)
モバイル型感染症サーベイランスの構築	千田勝一	小児科学講座	4,425,000	補 厚生労働科学研究費補助金地球規模保健課題推進研究事業
7T 超高解像度MRSを用いた早産・低出生体重児脳内生化学的評価	赤坂真奈美	小児科学講座	1,480,000	補 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
被災地で医療従事者が診療に活用するモバイル遠隔医療システムの開発	小山耕太郎, 高橋信, 早田航	小児科学講座	1,200,000	補 経済産業省地域イノベーション創成プログラム補助金
地域医療基盤開発推進研究事業、遠隔医療を実施する拠点病院のあり方に関する研究	小山耕太郎	小児科学講座	8,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 (小川班)
低出生体重児に試用可能なpush-pull方式血液浄化装置の開発	石川 健	小児科学講座	1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金
膀胱内カテーテル留置法の確立	古川ひろみ	小児科学講座	450,000	補 公益財団法人 森永奉仕会
フォンタン手術適応患者における、門脈体循環短絡の合併と予後	高橋 信	小児科学講座	1,000,000	補 地域医療研究研究費補助金
7T 超高解像度MRSを用いた早産・低出生体重児脳内生化学的評価	亀井 淳、赤坂真奈美	小児科学講座	1,200,000	補 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 (2014~2018)
災害時および災害に備えた慢性閉塞性肺疾患等の生活習慣病患者の災害時弱性に関する研究	山内 広平	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内 科分野	480,000	補 厚生労働省循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業(木田班)
小児におけるB型肝炎の水平感染の実態把握とワクチン戦略の再構築に関する研究	滝川康裕	内科学講座 消化器内科・肝臓分野	1,210,000	補 厚生労働科学研究班 (須磨崎班)
経口感染によるウイルス性肝炎(A型およびE型)の感染防止・病態解明・遺伝子多様性及び治療に関する研究	鈴木一幸	内科学講座 消化器内科・肝臓分野	1,000,000	補 厚生労働科学研究班 (岡本班)
肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究	阿部弘一	内科学講座 消化器内科・肝臓分野	1,000,000	補 厚生労働科学研究班 (田中班)
災害現場における救急救命用スタンドレス輸液装置の開発	秋富 慎司	岩手県高度救命救急センター	955,500	補 復興促進プログラム (マッチング促進)
都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究	秋富 慎司	岩手県高度救命救急センター	1,700,000	補 科学技術試験研究委託事業
急性高度難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	700,000	補 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業(小川班)
遺伝性難聴および外耳、中耳、内耳奇形に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	500,000	補 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業(宇佐美班)
新しい難聴遺伝子診断システムの開発および臨床応用に関する研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	500,000	補 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業(宇佐美班)
前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子変異解析に基づく新診断基準作成	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	350,000	補 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業(喜多村班)
高精度超音波画像診断装置の開発	志賀 清人	耳鼻咽喉科学講座	24,202,000	補 厚生労働科学研究費補助金 革新的医療機器等開発事業

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
在宅心不全ハイリスク患者に対する生活習慣改善支援の有効性に関する研究	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	5,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)橋本班
大規模災害における循環器病診療の体制と手法の確立に関する多施設共同研究	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	1,250,000	委 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)内藤班
高度な骨切り術・人工関節置換術のための3次元ベース術前計画支援システム	一戸貞文	整形外科科学講座	551,200	委 独立行政法人科学技術振興機構
いわて発着付加価値コバルト合金を用いた整形外科用インプラントの開発	山崎 健	整形外科科学講座	54,880,597	補 厚生労働省革新的医療機器等開発事業
腸管不全に対する小腸移植技術の確立に関する研究	石田和之	病理診断学講座	900,000	委 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業(福澤班)
自殺対策のための効果的な介入手法の普及に関する研究	酒井 明夫	神経精神科学講座	700,000	補 障害者対策総合研究事業(山田班)
東日本大震災における精神疾患の実態についての疫学的調査と効果的な介入方法の開発についての研究	酒井 明夫	神経精神科学講座	3,500,000	委 障害者対策総合研究事業(松岡班)
東日本大震災後の被災地域住民のストレス対処行動とメンタルヘルスに関する縦断研究	酒井 明夫	神経精神科学講座	2,000,000	委 公益財団法人 喫煙科学研究財団
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	八木 淳子	神経精神科学講座	4,500,000	補 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(呉班)
被災後の子どものこころの支援に関する研究	八木 淳子	神経精神科学講座	2,000,000	委 地域医療基盤開発推進研究事業(五十嵐班)
卵巣明細胞腺癌に対するテムシロリムスを含む化学療法の有効性および安全性に関する研究	杉山 徹	産婦人科学講座	1,600,000	補 厚生労働科学研究費補助金
原発性高脂血症に関する調査研究	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝内科分野	900,000	委 厚生労働科学研究費補助金
大規模災害における循環器病診療の体制と手法の確立に関する多施設共同研究	森野 慎浩	内科学講座循環器内科分野	1,050,000	補 厚生労働科学研究費補助金
ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備	石田 陽治	内科学講座血液・腫瘍内科分野	800,000	委 厚生労働科学研究費補助金
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の標準的治療法確立に関する研究	大塚 幸喜	外科学講座	250,000	補 厚生労働科学研究費補助金
小児におけるB型肝炎の水平感染の実態把握とワクチン戦略の再構築に関する研究	佐々木 美香	小児科学講座	500,000	委 厚生労働科学研究費補助金
			計	42件 154,480,297

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するもの
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2.論文発表等の実績

(1) 高殿の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属部署	論文題名	雑誌名
1	Kasai Kazuhiro	内科学講座 消化器内科 肝臓 分野	Therapeutic efficacy of transarterial chemo-embolization with a fine-powder formulation of cisplatin for hepatocellular carcinoma.	World J Gastroenterol 14 2242-2248 2013
2	Kato Akinobu	内科学講座 消化器内科 肝臓 分野	Nutritional management contributes to improvement in minimal hepatic encephalopathy and quality of life in patients with liver cirrhosis: A preliminary, prospective, open-label study.	Hepatol Res 43 452-458 2013
3	Kakisaka Keisuke	内科学講座 消化器内科 肝臓 分野	Bimodal Peaks of Liver Stiffness in a Case of Drug-Induced Liver Injury.	Hepatol Res in press 2014
4	Kuroda Hidekatsu	内科学講座 消化器内科 肝臓 分野	Liver stiffness measured by ARFI elastography reflects the severity of liver damage and prognosis in patients with acute liver failure.	Hepatol Res in press 2014
5	Kasai Kazuhiro	内科学講座 消化器内科 肝臓 分野	Efficacy of hepatic arterial infusion chemotherapy using 5-Fluorouracil and systemic pegylated interferon α -2b for advanced intrahepatic cholangiocarcinoma.	Ann Surg Oncol in press 2014
6	Yasutaka Gotoh	眼科学講座	Ophthalmic relief activities conducted by Iwate University after the Great East Japan Earthquake	Nihon Ganka Gakkai Zasshi 117(11) 911-7 2013
7	Tomomi Harada	眼科学講座	Contribution of N-methyl-DL-aspartic acid (NMDA)-sensitive neurons to generating oscillatory potentials in Royak College of Surgeons rats	Doc Ophthalmol 127(2) 131-40 2013
8	Yuki Kamata	眼科学講座	A case of Chung-Strauss syndrome and central retinal artery occlusion with good visual recovery	Indian J Ophthalmol. 61(4) 178-9 2013
9	Makoto Oikawa	眼科学講座	Effects of protease-activated receptors (PARs) on intracellular calcium dynamics of acinar cells in rat lacrimal glands	Histochem Cell Biol 140(4) 463-76 2013

10	Yoshihiro. Inoue	救急医学講座	Factors associated with severe effects following acute glufosinate poisoning.	Clinical Toxicology: The Official Journal of the American Academy of Clinical Toxicology & European Association of Poisons Centres & Clinical Toxicologists.51(9):84-69,2013
11	Yasuhisa. Fujino	救急医学講座	Risk factors for early re-bleeding and associated hospitalization in patients with colonic diverticular bleeding	Colorectal Disease. 15(8):982-986,2013
12	Hisaho. Sato	高度救命救急センター	A study on the relationship between early-stage plasma cytokines and neutrophil elastase levels in septic acute respiratory failure, and the prognosis.	岩手医学雑誌. 65(1):37-46, 2013
13	Takayuki. Masuda	高度救命救急センター	Relationship between serum nitrite/nitrate (NOx) levels in the early phase of septic acute lung injury and the prognosis	岩手医学雑誌. 65(5):323-332, 2013
14	Koichi. Hoshikawa	救急医学講座	Assessment of hematopoietic factors in sepsis patients and in sepsis patients with disseminated intravascular coagulation	岩手医学雑誌. 65(5):333-341, 2013
15	Ohmomo H	内科学講座 血液・腫瘍内科分野	Reducing of systematic bias in transcriptome data from human peripheral blood mononuclear cells for transportation and biobanking.	PLoS One 9 (8) e104283 2014
16	Murai K	内科学講座 血液・腫瘍内科分野	Bortezomib induces thrombocytopenia by the inhibition of proplatelet formation of megakaryocytes.	Eur J Hematol Doi: 10. 1111/ejh. 12342 [Epub ahead of print] 2014
17	Kowata S	内科学講座 血液・腫瘍内科分野	Platelet demand modulates the type of intravascular protrusion of megakaryocytes in bone marrow.	Throm Haemost 112 (3) [Epub ahead of print] 2014
18	Ito S	内科学講座 血液・腫瘍内科分野	Successful use of cyclophosphamide as an add-on therapy for multiple myeloma patients with acquired resistance to bortezomib or lenalidomide.	Case Rep. in Hematol 651902 2013
19	Suzuki Y	内科学講座 血液・腫瘍内科分野	Resveratrol suppresses cell proliferation via inhibition of STAT3 phosphorylation and Mcl-1 and cIAP-2 expression in HTLV-1-infected T cells.	Leuk Res 37 (12) 1674-1679 2013

20	Yutaka Nakamura	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	Developmental current and future therapy for severe asthma	Inflammation and Allergy -Drug Targets 12 54-60 2013
21	Yu Utsumi	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	Association of IL-13 gene polymorphisms with airway hyperresponsiveness in a Japanese adult asthmatic population	Respiratory Investigation 51 147-152 2013
22	Yoshio Nakajima	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	The role of tumor necrosis factor- α and interferon- γ in regulating angiotensin-like protein 1 expression in microvascular endothelial cells	Allergology International 62 309-322 2013
23	Naomi Suzuki	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	Effects of imatinib mesylate on pulmonary allergic vasculitis in murine model	International Journal of Rheumatic Diseases 16 455-462 2013
24	Yutaka Nakamura	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	Scedosporium aurantiacum brain abscess after near-drowning in a survivor of a tsunami in Japan	Respiratory Investigation 51 207-211 2013
25	Satoshi Moriguchi	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	Association of thymic stromal lymphopoietin gene polymorphisms with atopic status and pulmonary function in a Japanese adult asthmatic population	Journal of Iwate Medical Association 66 47-55 2014
26	Rumi Koizumi	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	Rapamycin attenuates pulmonary allergic vasculitis in murine model by reducing TGF- β production in the lung	Allergology International 63 457-466 2014
27	Sato H	耳鼻咽喉科学講座	Detection of labyrinthine artery in patients with idiopathic sudden sensorineural hearing loss by 7-T MRI	Otolaryngol Head Neck Surg 150(3) 455-459 2014
28	Shinsuke. Narumi	内科学講座 神経内科・老年科分野	Prediction of carotid plaque characteristics using non-gated MR imaging: correlation with endarterectomy specimens.	American Journal of Neuroradiology 34:191-7, 2013
29	Chigumi. Ohtsuka	内科学講座 神経内科・老年科分野	Changes in substantia nigra and locus coeruleus in patients with early-stage Parkinson's disease using neuromelanin-sensitive MR imaging.	Neurosci Letter 541:93-8, 2013

30	Youichi Kamei	整形外科科学講座	Core Needle Percutaneous Transpedicular Vertebral Body Biopsy: A Study of 128 Cases	Journal of Spinal Disorders & Techniques 2013 Jul 8. [Epub ahead of print]
31	Kotaro Fujino	整形外科科学講座	Morphology of the Femoral Insertion Site of the Medial Patellofemoral Ligament	Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy 2013 DOI: 10.1007/s00167-013-2797-0 [in press]
32	Hiroaki Kimura	形成外科学講座	Reconstruction of the sacral region using the lumbo-gluteal sensory flap.	J Plast Reconstr Aesthet Surg 66: 239-242; 2013
33	Masaki.Ohsawa	衛生学公衆衛生学	Concordance of CKD stages in estimation by the CKD-EPI equation and estimation by the MDRD equation in the Japanese general population: The Iwate KENCO Study	International Journal of Cardiology 165(2) 377-379 2013
34	Hiroaki.Shimizu	脳神経外科学講座	Cilostazol for the prevention of acute progressing stroke: a multicenter, randomized controlled trial	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 22(4) 449-456 2013
35	Masaki.Ohsawa	衛生学公衆衛生学講座	Comparison of predictability of future cardiovascular events between chronic kidney disease (CKD) stage based on CKD epidemiology collaboration equation and that based on modification of diet in renal disease equation in the Japanese general population. Iwate KENCO Study	Circulation Journal 77(5) 1315-1325 2013
36	Hideo.Saito	脳神経外科学講座	Postoperative changes in cerebral metabolites associated with cognitive improvement and impairment after carotid endarterectomy: a 3T proton MR spectroscopy study.	American journal of Neuroradiology 34(5) 976-982 2013
37	Shinichi. Omama	救急医学講座	Influence of the Great East Japan Earthquake and Tsunami 2011 on Occurrence of Cerebrovascular Diseases in Iwate, Japan	Stroke 44(6) 1518-1524 2013
38	Yoshihiro.Takahashi (Hitotaka.Takahashi)	脳神経外科学講座	Changes in cognitive function after carotid endarterectomy in older patients: comparison with younger patients	Neurologia medico-chirurgica 53(6) 353-359 2013
39	Yoshitaka.Kubo	脳神経外科学講座	Adrenomedullin concentration in the cerebrospinal fluid is related to appetite loss and delayed ischemic neurological deficits after subarachnoid hemorrhage.	Neurological Research 35(7) 713-718 2013

40	Yoshiyasu.Matsumoto	脳神経外科学講座	Detection of misery perfusion in the cerebral hemisphere with chronic unilateral major cerebral artery stenocclusive disease using crossed cerebellar hypoperfusion: comparison of brain SPECT and PET imaging	European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging 40(10) 1573-1581 2013
41	Kohki.Oikawa	脳神経外科学講座	Combined measurement of cerebral and cerebellar blood flow on preoperative brain perfusion SPECT imaging predicts development of new cerebral ischemic events after endarterectomy for symptomatic unilateral cervical carotid stenosis.	Clinical Nuclear Medicine 38(12) 957-961 2013
42	Masaki.Ohsawa	衛生学公衆衛生学講座	High risks of all-cause and cardiovascular deaths in apparently healthy middle-aged people with preserved glomerular filtration rate and albuminuria: A prospective cohort study	International Journal of Cardiology 170(2) 167-172 2013
43	Yuiko.Sato	脳神経外科学講座	Postoperative increase in cerebral white matter fractional anisotropy on diffusion tensor magnetic resonance imaging is associated with cognitive improvement after uncomplicated carotid endarterectomy: tract-based spatial statistics analysis.	Neurosurgery 73(4) 592-599 2013
44	Takeo.Uzuka	脳神経外科学講座	Treatment outcomes in glioblastoma patients aged 76 years or older: a multicenter retrospective cohort study	Journal of Neuro-Oncology 116(2) 299-306 2014
45	Yuichi.Sato	脳神経外科学講座	Growth hormone-producing pituitary adenoma regrowing as pituitary adenoma with neuronal choristoma 14 years after tumor removal	World Neurosurgery 80(3-4) 436e11-e13 2013
46	Kenyu.Sato	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科学分野	Cardiovascular risk stratification with plasma B-Type natriuretic peptide levels in a community-based hypertensive cohort	The American Journal of Cardiology 113(4) 682-686 2014
47	Hideo.Saito	脳神経外科学講座	Biological characteristics of a cerebellar mass regrowing after removal in a patient with lhermitte-duclos disease: emission tomography studies	Case Reports in Neurology 6(1) 96-100 2014
48	Shinichi. Omama	救急医学講座	Incidence Rate of Cerebrovascular Diseases in Northern Japan Determined from the Iwate Stroke Registry with an Inventory Survey System	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 22(8) e317-e322 2013
49	Koh. Ishikawa	麻酔学講座	Perioperative administration of nicorandil might compensate for the pharmacological preconditioning effect with isoflurane anesthesia	Journal of Iwate Medical Association 65 75-85 2013

50	Tomonori.Kawasaki	病理診断学講座	Small-cell carcinoma of the breast with squamous differentiation.	Histopathology 63 739-741 2013
51	Miki.Matsui	口腔医学講座 予防歯科学分野	Effects of tongue cleaning on bacterial flora in tongue coating and dental plaque: a crossover study	BMC Oral Health 14 4 2014
52	Komatsu ,T	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	Comparison between CHADS2 and CHA2DS2-VASc score for risk stratification of ischemic stroke in Japanese patients with non-valvular paroxysmal atrial fibrillation not receiving anticoagulant therapy.	Int Heart J 55(2) 119-125 2014
53	Sato K	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	Cardiovascular risk stratification with plasma B-type natriuretic peptide levels in a community-based hypertensive cohort.	Am J Cardiol. 113(4) 682-686 2014
54	Makita, S	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	Possible Clinical Aspects Of a linkage of Preceding Weight Loss and Heart Failure.	Circulation Journal 78(3) 590-591 2014
55	Koeda,C.	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	Possible Usefulness of Gadolinium-Enhanced Brain MRI for Evaluating Risk of Perioperative Hemorrhage: A Case of Infective Endocarditis	Case Reports in Cardiology 2014
56	Kamei A	小児科学講座	Proton magnetic resonance spectroscopic images in preterm infants with bilirubin encephalopathy	J Pediatr 160 342-344 2012
57	Kamei A	小児科学講座	Hypofibrinogenemia caused by adrenocorticotrophic hormone for infantile spasms: a case report.	Brain Dev 36 2014
58	Makiko Saitoh	小児科学講座	Clinical and genetic features of acute encephalopathy in children taking theophylline.	Brain Dev 36 2014
59	Kamei A	小児科学講座	Aicardi-Goutières syndrome with systemic lupus erythematosus and hypothyroidism	Brain & Development 35 87-90 2013

60	Ishikawa K	小児科学講座	The effects of terlipressin on regional hemodynamics and kidney function in experimental hyperdynamic sepsis.	PLoS One 7 e29693 2012
61	Morimatsu H	小児科学講座	The systemic and regional hemodynamic effects of phenylephrine in sheep under normal conditions and during early hyperdynamic sepsis.	Anesth Analg 115 330-42 2012
62	Ishikawa K	小児科学講座	Effect of selective inhibition of renal inducible nitric oxide synthase on renal blood flow and function in experimental hyperdynamic sepsis.	Crit Care Med 40 2368-75 2012
63	Takahashi Masahiro	外科学講座	Pure laparoscopic right hepatectomy by anterior approach with hanging maneuver for large intrahepatic cholangiocarcinoma	Surgical Endoscopy 12 4732-3 2013
64	Iwaya Takeshi	外科学講座	Contrasting expression patterns of histone mRNA and microRNA 760 in patients with gastric cancer	Clinical Cancer Research 23 6438-49 2013
65	Sasaki Akira	外科学講座	Single-port versus multiport laparoscopic resection for gastric gastrointestinal stromal tumors: a case matched comparison	Surgery Today 7 1282-6 2014
66	Itabashi Testuya	外科学講座	Potential value of sonazoid-enhanced intraoperative laparoscopic ultrasonography for liver assessment during laparoscopy-assisted colectomy	Surgery Today 4 696-701 2014
67	Yaegashi Mizunori	外科学講座	Daikenchuto stimulates colonic motility after laparoscopic-assisted colectomy	Hepato-Gastroenterology 129 85-9 2014
68	Kashiwaba Masahiro	外科学講座	A phase I study of capecitabine combined with CPT-11 in metastatic breast cancer pretreated with anthracyclines and taxanes	Oncology 4 206-11 2014
69	Endo Fumitaka	外科学講座	A compensatory role of NF- κ B to p53 in response to 5-FU-based chemotherapy for gastric cancer cell lines	PLOS ONE 2 e90155 2014

70	Umamura Akira	外科学講座	Effects of changes in adipocyte hormones and visceral adipose tissue and the reduction of obesity-related comorbidities after laparoscopic sleeve gastrectomy in Japanese patients with severe obesity	Endocrine Journal 4 381-91 2014
71	Sasaki Akira	外科学講座	Laparoscopic single site adrenalectomy: initial results of cosmetic satisfaction and the potential for postoperative pain reduction	BMC Urology 13:21 2013
72	Hasegawa Yasushi	外科学講座	Laparoscopic left lateral sectionectomy as a training procedure for surgeons learning laparoscopic hepatectomy	J Hepatobiliary Pancreat Surg 5 525-30 2013
73	Ehara Shigeru.	放射線医学講座	Potentially symptomatic fabella : MR imaging review.	Jpn J Radiol. 2014 ; 32 : 1-5
74	Tanaka Ryoichi.	放射線医学講座	Improved evaluation of calcified segments on coronary CT angiography : a feasibility study of coronary calcium subtraction.	Int J Cardiovasc Imaging. 2013 ; 29 Suppl 2 : 75-81.
75	Tanaka Ryoichi.	放射線医学講座	Usefulness of dynamic volume scanning with 320-row CT in detecting recanalization of pulmonary arteriovenous fistula after coil embolization.	Springerplus. 2013 ; 2(1) : 169.
76	Satoshi Harada.	放射線医学講座	Enhanced radiation effect on tumor growth using oxygen rich microcapsules.	IJ PIXE. 2013 ; 23 : 39-45.
77	Kikuchi Koyo.	放射線医学講座	Three-dimensional summation of rectal doses in brachytherapy combined with external beam radiotherapy for prostate cancer.	Radiother Oncol. 2013 ;107 : 159-64.
78	Noritaka Koizumi	神経精神科学講座	The severity of consciousness disorder in patients taking overdose of benzodiazepine drugsBas assessed by estimated equivalent dose and plasma concentration	The Journal Of The Iwate Medical Association 65(2) 63-73 2013
79	Hidemitsu Tomisawa	神経精神科学講座	A study on the relationship between chief complaints of patients admitted to psychiatric emergency services and their diagnoses and outcomes	The Journal Of The Iwate Medical Association 65(2) 97-111 2013

80	Kaoru Kudo	神経精神科学講座	Predictors for delayed encephalopathy following acute carbon monoxide poisoning	BMC Emergency Medicine 14 3 2013
81	Yutaka Ono	神経精神科学講座	Effectiveness of a Multimodal Community Intervention Program to Prevent Suicide and Suicide Attempts: A Quasi-Experimental Study	OPEN ACCESS Freely available online 8(10) e74902 2013
82	Rie Oyama	産婦人科学講座	Towards improved ultrasound-based analysis and 3D visualization of the fetal brain using 3D Slicer.	Ultrasound in Obstetrics and Gynecology. 42 609-610 2013
83	Tadahiro Shoji	産婦人科学講座	Neoadjuvant chemotherapy using platinum- and taxane-based regimens for bulky stage Ib2 to IIb non-squamous cell carcinoma of the uterine cervix.	Cancer Chemotherapy and Pharmacology 71 657-662 2013
84	Tomonobu Kanasug	産婦人科学講座	Monochorionic twin fetus with VACTERL association after intracytoplasmic sperm injection.	Congenital Anomalies 53 (2) 95-97 2013
85	Eriko Takatori	産婦人科学講座	Analysis of the antitumor activity of gemcitabine and carboplatin against ovarian clear-cell carcinoma using the DNA damage marker γ H2AX.	OncoTargets and Therapy; 6 901-907. 2013
86	Eriko Takatori	産婦人科学講座	Recurrent cervical cancer in a patient who was compound heterozygous for UGT1A1*6 and UGT1A1*28 presenting with serious adverse events during irinotecan hydrochloride/nedaplatin therapy.	The journal of obstetrics and gynaecology research 39 (8) 1354-1358 2013
87	Ikue Nakayama	産婦人科学講座	Loss of HOXD10 expression induced by upregulation of miR-10b accelerates the migration and invasion activities of ovarian cancer cells.	International journal of oncology 43 (1) 63-71 2013
88	Miyuki Terata	産婦人科学講座	Detection of Peripartum Myocardial Burden by Vector-Projected 187 Channel Electrocardiography and Serum NT-proBNP.	International Heart Journal 54 140-145 2013

計88件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	筆頭著者指名	所属部署	論文題名	掲載雑誌名 掲載巻 掲載ページ 掲載発行年
1	菊池 哲	救急医学講座	硬化療法後に虚血性胃粘膜病変をきたした残胃静脈瘤破裂の1例	Gastrienterological Endoscopy. 55(7):1995-1999, 2013
2	松本 尚也	高度救命救急センター	岩手県ドクターヘリ運用開始前の想定と現状	日本航空医療学会雑誌. 14(1):16-2, 2013
3	柴田 繁啓	高度救命救急センター	急性肺障害に対する人工呼吸 急性肺障害の病態と臨床知見	日本臨床麻酔学雑誌. 33(7):926-931, 2013
4	照井 克俊	高度救命救急センター	トリカブト中毒患者30症例の不整脈症状を中心とした特徴と治療に関する臨床的検討	日本救急医学会雑誌. 24(10):857-863, 2013
5	藤田 友嗣	救急医学講座	アルゴンプラズマ質量分析法を用いた一般住民の血清中微量元素濃度について	岩手医学雑誌. 65(3):143-153, 2013
6	亀井昌代	耳鼻咽喉科学講座	補聴器初期設定時における適合検査結果と音の主観的評価	Audiology Japan 116 640-641 2013
7	福田宏治	耳鼻咽喉科学講座	当施設における真珠腫性中耳炎の術前MRI検査-DWIの有用性	Otol Jpn 24(1) 15-21 2014
8	佐藤宏昭	耳鼻咽喉科学講座	急性感音難聴. 特集 局所副腎皮質ステロイドの正しい使用法	耳喉頭頸 85(9) 664-669 2013
9	小林有美子	耳鼻咽喉科学講座	アッシャー症候群の5症例	Otol Jpn 24(1) 39-43 2014
10	加藤可奈子	内科学講座 神経内科・老年科分野	パーキンソン病の病態と神経炎症 髄液中サイトカインと酸化ストレスマーカーの検討	岩手医学雑誌65:27-35, 2013
11	藤澤豊	内科学講座 神経内科・老年科分野	アルツハイマー病早期抽出のためのワンフレーズスクリーニング法の開発と妥当性の検討.	日本老年医学会雑誌 50:392-399, 2013
12	山崎 健	整形外科科学講座	思春期の胸腰椎・腰椎側弯症に対する後方矯正固定法	別冊整形外科 腰椎疾患up-to-date 63 248-252 2013
13	村上 秀樹	整形外科科学講座	腰椎変性側弯進行のX線学的危険因子	別冊整形外科 腰椎疾患up-to-date 63 20-23 2013
14	山崎 健	整形外科科学講座	Ⅲ. 思春期の脊柱変形6. 装具治療-適応と限界-	整形外科 64(8) 806-811 2013
15	山崎 健	整形外科科学講座	思春期特発性側弯症の後方矯正固定法の進歩	別冊整形外科 64 88-93 2013
16	松尾 有三	整形外科科学講座	示指移行で再建した中指基節骨に発生した軟骨肉腫の1例	岩手医学雑誌 65(3) 181-185 2013
17	山部 大輔	整形外科科学講座	腰椎椎間関節軟骨変性の評価-病理組織像とT2マッピング法MRIとの比較-	岩手医学雑誌 65(4) 259-270 2013
18	山崎 健	整形外科科学講座	思春期特発性側弯症に対する装具療法の治療成績	Journal of Spine Research 4(11) 1637-1642 2013

19	西田 淳	整形外科科学講座	特集1 PETによる悪性腫瘍の治療戦略 2. FDG-PETによる骨軟部腫瘍の術前療法効果判定、分子イメージングからアルツハイマー病・がん治療まで	PET journal (24) 15-16 2013
20	土井田 稔	整形外科科学講座	特集：非特異的腰痛の病態と治療－腰痛診療ガイドラインを踏まえて－ 診断	整形・災害外科 56(12) 1451-1457 2013
21	鈴木 忠	整形外科科学講座	屈筋腱縫合術後の癒着に対する腱剥離の効果：イヌの動物モデルによる検討	岩手医学雑誌 65(5) 307-314 2013
22	八重樫幸典	整形外科科学講座	人工膝関節全置換術後に脂肪塞栓症候群を発症した1例	整形外科 64(11) 1189-1191 2013
23	田島 吾郎	整形外科科学講座	Outside-in法による解剖学的長方形骨孔前十字靭帯再建術 専用パラレルガイドを用いた術式の工夫	JOSKAS 38(1) 92-93 2013
24	田島 吾郎	整形外科科学講座	膝靭帯手術のすべてI. 膝関節を構成する靭帯の解剖とバイオメカニクス「後十字靭帯」	膝靭帯手術のすべて 2013 9-18
25	土井田 稔	整形外科科学講座	頸肩腕症候群（肩こりを含む）	今日の治療指針 私 はこう治療している 990-991 2014
26	古町 克郎	整形外科科学講座	Acutwist screwを用いた舟状骨偽関節の手術的治療	日本手外科学会雑誌 30(5) 740-743 2014
27	柏 克彦	形成外科学講座	基礎疾患を有する患者の遊離皮弁移植術.	形成外科 56: 481- 489; 2013
28	柏 克彦	形成外科学講座	有茎皮弁による創傷治療.	PEPARS 79: 64-72; 2013
29	柏 克彦	形成外科学講座	鼻唇溝部の皮弁による眼瞼周囲の再建.	形成外科 57; 231- 241; 2014.
30	柏谷 元	形成外科学講座	神経修復法 -基礎知識と実践手技-;血管柄付き腓腹神経移植.	PEPARS 78; 68-74; 2013
31	阿部貴弥	泌尿器科学講座	腎代替療法の選択(導入) 急性血液浄化の適応 The indications for blood purification	腎と透析 増刊号 84-88 2014
32	阿部貴弥	泌尿器科学講座	特集:透析治療技術の現状の到達点 VII アルブミン結合毒素の効率的な除去法	臨床透析(日本メディカルセンター) 30(5) 53-59(531-537) 2014
33	上杉憲幸	病理診断学講座	微小胃癌の病理 分化型微小胃癌の臨床病理学のおよび分子病理学的特徴.	胃と腸 48 794-808 2013
34	菅井 有	病理診断学講座	【非腫瘍性大腸ポリープのすべて】inflammatory myoglandular polypと若年性ポリープの病理学的鑑別 inflammatory myoglandular polypの臨床病理学的特徴.	胃と腸 48 1161-1174 2013
35	杉本 亮	病理診断学講座	胃癌分離腺管および周囲粘膜における分離腸上皮化生腺管、分離非腸上皮化生腺管の分子病理学的解析	岩手医誌 65 271-283 2013
36	小松隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	特集:不整脈の薬物療法管理 病態に応じた治療のポイント 高齢者の虚血性心疾患心房細動	月刊 薬事 55(8) 35-41 2013
37	蒔田真司	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	第3章症例編 バージャー病	Vascular Lab 増刊 10 216-220 2013
38	安孫子明彦	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	第3章症例編 末梢動脈瘤	Vascular Lab 増刊 10 221-225 2013

39	小松隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	<不整脈>I群抗不整脈薬	臨床雑誌 内科 112(3) 517-522 2013
40	小松隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	脳卒中予防のための心房細動管理マニュアル 3.洞調律維持-リズム治療-	医薬ジャーナル社 201-213 2013
41	梶田房紀	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	I群抗不整脈薬治療抵抗性発作性心房細動におけるアミオダロン の長期予防効果-層別解析による比較検討-	Progress in Medicine 33(1) 723-725 2013
42	小松隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	妊婦の内科疾患の現地診療のすすめかた-ポイントと留意点- 不整脈	Medical Practice 30(9) 1517-1520 2013
43	梶田房紀	内科学講座 心血管・腎・内分泌 内科分野	低心機能を合併した発作性心房細動に対する抗不整脈薬の長 期再発予防効果と心血管予後-アミオダロンとヘパリジンとの比較検 討-	Progress in Medicine 34(1) 603-606 2014
44	白倉正博	小児科学講座	てんかん外科手術を受けた海馬硬化による内側側頭葉て んかんの長期予後	小児科臨床 67 1347-1353 (2014)
45	曾我菜海	小児科学講座	脳室周囲白質軟化症に合併した点頭てんかんの短期治療 効果	岩手医誌 64 131-135 2012
46	浮津真弓	小児科学講座	早産児の便中calprotectinの経時的測定とその影響因子解 析	岩手医誌 64 247-253 2012
47	松下翔子	小児科学講座	好中球CD64発現量の小児基準値の検討	岩手医誌 64 269-275 2012
48	鈴木 悠	小児科学講座	早産極低出生体重児の成人期予後とその危険因子解析	岩手医誌 64 287-298 2012
49	白澤聡子	小児科学講座	極低出生体重児の3歳時予後と神経学的障害の危険因子 解析	岩手医誌 64 351-361 2012
50	赤坂真奈美	小児科学講座	ミオクロニー失立発作てんかんに対するエトスクシミドにより 重症型 再生不良性貧血を来した症例	てんかん研究 30 504-510 2013
51	石川 健	小児科学講座	溶血性尿毒症症候群におけるurinary neutrophil gelatinase-associated lipocalinの測定	日小児腎臓病会誌 26 7-12 2013
52	高田 彰	小児科学講座	エアフリーチャンバ式圧力モニタの血液浄化装置が回路 内凝血防止に有用と考えられた2小児例	日小児腎臓病会誌 26 77-81 2013
53	高橋 信	小児科学講座	重複僧帽弁口を合併した心室中隔欠損の臨床経過	Jpn J Med Ultrasonics 40 407-412 2013
54	高橋 信	小児科学講座	左冠動脈開口部狭窄による運動時失神の2例	日本小児科学会誌117 887-891 2013
55	水谷歩未	神経精神科学講座	Aripiprazoleとvalproateの併用が有効であった双極性感情 障害の1例	臨床精神薬理 16 1051-1055 2013
56	大塚耕太郎	神経精神科学講座	自殺念慮の早期発見と求められる対応	精神科治療学 28(11) 1437-1441 2013
57	水谷歩未	神経精神科学講座	脳梗塞後の失語症と認知症に随伴したインスリンノーマの1例	精神科 23(2) 253-257 2013

58	武内克也	神経精神科学講座	精神科救急 東日本大震災によって津波被害を受けた 岩手県沿岸地域の精神科外来における変化	精神科 23(4) 476-478 2013
59	八木淳子	神経精神科学講座	地域に根差したこころのケア—宮古子どもこころのケアセ ンターのとりくみから	LD研究 22(1) 22-27 2013
60	八木淳子	神経精神科学講座	東日本大震災における子どもこころのケア	トラウマティック・スト レス 10(2) 84-85

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理指針に基づき、①学部長の業務 ②学長の責務 ③研究者等の責務 ④研究責任者の責務 ⑤試料等の保存等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 学校法人岩手医科大学の職員等が行う産学官連携活動の伴い発生する利益相反を適切に管理することによって、大学及び職員等の社会的信用及び名譽の保持及び社会貢献の推進を図ること	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回

- (注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容 「臨床研究申請の仕方」、「生命倫理4原則と基本倫理学説」、「医学部倫理委員会での審査」	

- (注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各専門領域において、認定医および専門医等資格取得に至る修練期間が異なるが、各科において①初期臨床研修終了後に認定医・専門医資格取得に向けた専門研修を行う、②初期臨床研修終了後に大学院に進み博士号取得を目指し、その後認定医・専門医資格取得に向けた専門研修を行う、③初期臨床研修を行いながら同時に社会人大学院に進み博士号取得を目指し、その後認定医・専門医資格取得に向けた専門研修を行うとする、概ね3通りのコースを設けており、各々のライフプランに合わせた研修を行う。各科の研修は、自院のほかに院外認定施設（病院）においても行われ、専門医等取得に向け領域の所定症例（数）の臨床経験、論文の執筆・発表および学会参加等、日々種々の研修を積む。

一つの事例として、消化管内科・肝臓内科での研修のライフプランを図で示すと以下のとおりとなります。

ライフプラン

初期研修+大学院(4年)
4年目で医学博士号取得

初期研修(2年)

初期研修(2年)

大学院(4年)

専門研修(2~9年)

6年目で医学博士号取得

(7年以上の研究歴と論文で医学博士号取得は可能)

大学と関連病院を交互に勤務(この間に内科学会認定医を取得)

消化器病学会専門医取得 消化器内視鏡学会専門医取得 肝臓学会専門医取得

消化管学会認定取得 消化器がん検診学会認定医取得

国内外留学

大学助教

関連病院常勤医

大学助教・講師・准教授または 関連病院科長 など

2 研修の実績

研修医の人数	31人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
黒田 英克	消化管内科・肝臓内科	特任講師	17年	
石垣 泰	糖尿病・代謝内科	教授	21年	
小松 隆	心血管・腎・内分泌内科	准教授	29年	
房崎 哲也	循環器内科	特任准教授	19年	
山内 広平	呼吸器・アレルギー・膠原病内科	教授	38年	
小宅 達郎	血液・腫瘍内科	講師	18年	
寺山 靖夫	神経内科・老年科	教授	35年	
肥田 圭介	外科	准教授	25年	
小笠原 邦昭	脳神経外科	教授	30年	
岡林 均	心臓血管外科	教授	38年	
谷田 達男	呼吸器外科	教授	35年	
安藤 貴信	整形外科	講師	25年	
小林 誠一郎	形成外科	教授	35年	
三浦 史晴	産婦人科	特任講師	23年	
赤坂 真奈美	小児科	助教	21年	
佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科	教授	32年	
木村 桂	眼科	講師	19年	
高橋 和宏	皮膚科	准教授	27年	
高田 亮	泌尿器科	講師	14年	
江原 茂	放射線診断科・放射線治療科	教授	35年	
酒井 明夫	精神神経科	教授	38年	
相澤 純	麻酔科	助教	22年	
山田 裕彦	救急科	特任准教授	27年	
諏訪部 章	臨床検査科	教授	30年	
櫻井 滋	睡眠医療科	教授	33年	
石田 和之	病理診断科	特任准教授	17年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 実施
管理責任者氏名	病院長 酒井 明夫
管理担当者氏名	病院事務部長 齋藤 俊哉 及び 各所属課長

		保管場所	保管方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部 診療記録管理室 各診療科 薬剤部 看護部	診療記録等の管理は、1患者1番号制(ID番号)により管理している。入院診療録は、1入院1診療録とし、ケミカル・デジタル方式による収納としている。外来診療録は1患者各診療科別診療録とし、各診療科による収納としている。病院日誌等の各種日誌に関しては、診療科ごとに1年分をまとめて保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事職員課	1職員1番号(ID番号)により管理している。1職員1部の人事記録簿を人事職員課にて収納管理している。
	高度の医療の提供の実績	病院事務部 医務課	各技術ごとに病院事務部医務課にて診療報酬明細書をファイリングして管理している。
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院事務部 医務課	各診療科からの報告書を基に電子媒体化を行い病院事務部医務課にて管理している。
	高度の医療の研修の実績	病院事務部 医務課	各診療科からの報告書を基に電子媒体化を行い病院事務部医務課にて管理している。
	閲覧実績	病院事務部 医務課	閲覧ごとに詳細情報を電子媒体化し病院事務部医務課にて管理している。
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部 医務課	紹介日、紹介先診療科ごとに管理システムに入力し病院事務部医務課内医療連携室にて管理している。
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部 医務課 薬剤部	医療情報システムからデータを抽出し、紙媒体および電子媒体にて管理している。
	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部

		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	委員会資料、議事録、出席者名簿について開催毎にまとめ紙媒体で医療安全管理部にて管理している。議事録については電子媒体でも管理している。
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	全職員対象研修については電子媒体管理システムに出欠状況を入力し医療安全管理部にて管理している。その他研修については参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で医療安全管理部にて管理している。
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	医療安全推進委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて医療安全管理部にて管理している。
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	医療に係る安全管理のための指針に規定し電子媒体および紙媒体で医療安全管理部にて管理している。
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部及び 医療福祉相談室	各科から寄せられた相談の内容を「相談記録票」にて医療福祉相談室に報告を行い、医療福祉相談室において「受付簿」に記載して報告・記録を綴り、保管している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	保管方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室	法律の改正等必要に応じて適宜指針を改定し、電子媒体および紙媒体で医療安全管理部に管理している。改廃内容は学規定集編纂総括管理者に届け出ている。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室	委員会資料、議事録、出席者名簿について開催毎にまとめて紙媒体で感染対策室にて管理している。議事録については電子媒体でも管理している。
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実態状況	院内感染対策室	全職員対象研修については電子媒体管理システムに出欠状況を入力し感染対策室にて管理している。その他講習会については参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で感染対策室にて管理している。
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室	院内感染対策委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて感染対策室にて管理している。
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
		従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部	参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で医療安全管理部にて管理している。
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	医薬品安全管理責任者と医療安全管理部で作成および修正を行い院内各部署へ配布しており、電子媒体にて医療安全管理部にて管理している。
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	医療安全推進委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて医療安全管理部にて管理している。
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室	医療機器材料部会と医療安全管理部が合同で開催する講習会、または部署ごとに実施する研修記録を管理している。
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室	院内中央管理機器については臨床工学室を窓口として実施管理。部署配置機器は各部署ごとに実施記録管理している。
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	臨床工学室が情報収集、文章作成を行い、医療安全管理部より各部署へ配布管理となっている。	

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院事務部長	齋藤 俊哉
閲覧担当者氏名	病院事務部次長	千葉 久人
	医務課長	佐藤 嘉英
	医事課長	小野 圭子
	人事職員課長	吉田 秀樹
閲覧の求めに応じる場所	諸記録閲覧室、会議室、カンファレンスルーム	
閲覧の手続の概要		
○ 病院統計資料 抽出申請書の提出により病院統計資料の閲覧を行う。		

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
・ 指針の主な内容: ①当該病院における安全管理に関する基本的考え方 ②安全管理委員会、その他の当該病院等の組織に関する基本的事項 ③医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 ④当該病院等における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ⑤医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ⑥医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む) ⑦患者からの相談への対応に関する方針 ⑧その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容: 当該病院等における安全管理の体制確保及び推進のために設ける ①重大な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者への報告 ②重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る ③安全管理委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し見直しを行う ④月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 53 回
・ 研修の主な内容: ①医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について当該研修を実施する病院等の従業者への周知徹底を行い、個々の従業者の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上等を図る	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 (有 無) ・その他の改善のための方策の主な内容: ①病院において発生した事故の安全管理委員会への報告。 ②あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析し、病院における問題点を把握して病院の組織としての改善策の企画立案及び実施状況を評価し病院において情報を共有する。 ③重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する。なお、事故の報告は診療録、看護記録等に基づき作成する。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有 (4名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 無
・所属職員: 専任(3)名 兼任(9)名 ・活動の主な内容: ①安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存。その他安全管理委員会の庶務に関する活動。 ②事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認及び指導を行う。 ③患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び指導を行う。 ④事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導を行う。 ⑤医療安全に係る連絡調整、及びその他医療安全対策の推進に関する活動。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・指針の主な内容:①院内感染対策に関する基本的考え方</p> <p>②院内感染対策のための委員会、その他の当該病院等の組織に関する基本事項</p> <p>③院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>④感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <p>⑤院内感染発生時の対応に関する基本方針</p> <p>⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針</p> <p>⑦その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容:当該病院等における院内感染対策の推進のために設ける</p> <p>①重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者への報告</p> <p>②院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</p> <p>③院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う</p> <p>④月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 16 回
<p>・研修の主な内容:③院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策について、当該研修を実施する病院等の従業者に周知徹底を行うことで、個々の従業者の院内感染に対する意識を高め、業務を遂行する上での技能やチームの一員としての意識の向上等を図る</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)</p> <p>1.耐性菌検出時、感染症対策室にメールと電話で連絡。また同時に担当医に耐性菌警告書と電話で連絡。</p> <p>2.感染症発生時、病棟師長・担当医から連絡、感染症報告書の提出</p> <p>3.検査部から院内感染症情報(1回/週)の報告</p> <p>4.検査部から感染対策委員会での報告(1回/月)</p> <p>*当院アウトブレイク規程に基づいて対応</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:①院内感染の発生状況を把握するため、病院における感染症の発生動向の情報を共有し、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る。</p> <p>②重大な院内感染が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、または発生したことが疑われる場合は地域の専門家等に相談が行われる体制の確保。</p> <p>③「院内感染対策の指針」に即した院内感染対策マニュアルの整備、及び見直し。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の主な内容: ①医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項</p> <p>②医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項</p> <p>③医薬品による副作用等が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容: ①病院等の規模や特徴に応じて以下の事項を含む手順書について安全管理委員会で協議を行い作成または変更を行う</p> <p>①病院等で用いる医薬品の採用・購入に関する事項</p> <p>②医薬品の管理に関する事項(例=医薬品の保管場所、薬事法(昭和35年法律第145号)などの法令で適切な管理が求められている医薬品(麻薬・向精神薬、覚せい剤原料、毒薬・劇薬、特定生物由来製品等)の管理方法)</p> <p>③患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項(例=患者情報(薬剤の服用歴、入院時に持参してきた薬剤等)の収集、処方箋の記載方法、調剤方法、処方箋や調剤薬の監査方法)</p> <p>④患者に対する与薬や服薬指導に関する事項</p> <p>⑤医薬品の安全使用に係る情報の取扱い(収集、提供等)に関する事項</p> <p>⑥他施設(病院等、薬局等)との連携に関する事項</p> <p>⑦手順書に基づく業務の実施については、医薬品安全管理責任者に対して、従業者の業務が医薬品業務手順書に基づき行われているか定期的に確認し、確認内容の記録を行う</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>厚生労働省ホームページ、PMDAホームページ、日本医療評価機構ホームページ、製薬会社、日本病院薬剤師会ホームページ、業界新聞等から情報を収集している。</p> <p>また、収集した医薬品情報に関して迅速に適切な措置を講じる体制を構築している。</p> <p>現在、定期的に医療安全推進室からの「医薬品・医療機器等安全性情報」および薬剤部からの「DI ニュース」を通じて情報を周知している。また、必要に応じて医療安全推進室からの医療安全通知および薬剤部からの薬務連絡により緊急の通知に対応している。また、必要に応じて安全使用のための講習会にて改善のための方策を周知・実施している。</p>	

医療機器に係る安全使用のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実態状況	年 21 回
<p>・ 研修の主な内容: ◎新しい医療機器の導入時及び特定機能病院における定期研修は以下の研修を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療機器の有効性・安全性に関する事項 ○医療機器の使用方法に関する事項 ○医療機器の保守点検に関する事項 ○医療機器の不具合等が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項 ○医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有)・ 無)</p> <p>保守点検の主な内容:・臨床工学技士による保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> 年2回の院内定期点検、および使用年数・作動時間に基づいて消耗部品の交換 <p>・メンテナンス契約によるメーカーまたは専門業者による保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> 年1回、機種によっては年2回の外注による動作点検・消耗部品の交換 <p>・保守契約付リース機器における専門業者による保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> 年1回のメーカー点検表に基づいた定期点検・消耗部品の交換 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・ 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:①医療機器の添付文章、取り扱い説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報の整理及び管理。</p> <p>②医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用のために必要な情報を製造販売業者から一元的に収集し、得られた情報を医療機器に携わる職員に対して適切に提供する。</p> <p>③管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集に努め、病院管理者への報告を行う。</p>	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
・情報発信の方法、内容等の概要	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ブレストケア外来・・・乳がん手術(切除)を行う外科と乳房再建を行う形成外科の医師が同じ診療科で患者に対し治療方針の説明等を行い共同で診療を行う。	